



「創る」ために ～ 「決める」「振り返る」「チャレンジする」～

校長 細井 歩

新緑のまぶしい季節となりました。おひさまの下で元気に遊ぶ子どもたちの姿は、新緑に負けないくらい輝いて見えます。そして、一つ一つのことには一生懸命取り組む姿や友達と笑顔で関わる姿もまた、ひときわまぶしく感じられます。わたしたちは、子どもたちに元気をもらっているなあと思改めて思う毎日です。

さて、4月7日の始業式では、この1年で大切にしていきたい言葉4つを子どもたちに紙で見せながら伝え、次のような話をしました。



①「きめる」

どんなことでも、「このやり方でやろう」「次のめあてはこれにしよう」と、自分で決めることが大切です。決めたことを一生懸命、思いをこめてやったら、

②「ふりかえる」

「どんなことができるようになったかな」「次はこうすればいいな」と考えることで、次に進む力が生まれます。

③そして、「チャレンジする」

新しいことやちょっとレベルアップすることを、一歩踏み出してやってみること。それが、みなさんの力をどんどん伸ばしていきます。この3つを続けていくと、最後にたどりつくのが、

④「創(つく)る」

ここでいう「創る」は、ただ何かを作るという意味ではありません。まだないもの、新しい考えやみんなで作る楽しいクラスや学校、そういう“新しいもの”を生み出すことです。これが、学校教育目標にある「未来を創り出す」の「創る」です。

一年の中で、「自分は決めているかな」「ふりかえているかな」「チャレンジしているかな」そして、「新しい何かを創り出せているかな」と、ぜひ何度も考えてみてください。

先日、教室をまわっていると、5年生のクラスでこの4つの言葉を覚えやすい合言葉にしたよと教えてくれた子どもたちがいました。「チャーハン、振りまわしてつくと決めた!」さすが子どもたち。面白い!また、教室に掲示している自己紹介カードの学習のめあて欄に「いろいろなことにチャレンジする」と書いている子どももいました。言葉が届いていたこと、意識しようとしてくれていることをとても嬉しく思いました。

みんなと一緒に、昨日よりひとつ成長した自分、もっと幸せな学校を創っていけるよう、大人も、子どもから学びながら一歩ずつ前に進んでいきたいと考えています。

